

第5次山形県教育振興計画(見直し計画)の構成(素案)

序章 第5次山形県教育振興計画の見直しについて 【P1(1)】

第1 見直しの趣旨 教育を取り巻く社会環境の変化を踏まえ、これまでの施策について評価・検証を行い、本県教育が目指すべき姿と施策の展開方法等について検討し、見直しを行うもの

第2 計画の性格 計画期間の後期に本県教育が取り組むべき施策を示すとともに、教育基本法第17条第2項に規定する本県の教育振興基本計画として、さらに第3次山形県総合発展計画における教育分野の具体的計画として位置付ける

第3 計画の目標年度 平成27年度(現行計画と同様)

第1章 第5次山形県教育振興計画(現行計画)について 【P2~10(9)】

第1 計画の目標(目指す子どもたちの姿) 【P2】

～知徳体が調和し、「いのち」輝く人間の育成～  
 知徳体が調和した人間の姿は、いつの時代にあっても教育の理想像であるが、それに加えて、様々な体験を通して自分自身を理解しながら自他のいのちや存在、生き方をも大切にするような人間(「いのち」輝く人間)に成長させていくことが大切

第2 主要な取組みの状況と課題(子どもたちの状況)

(1) 「いのち」を大切に、豊かな心と健やかな体を育てる ○「いのちの教育」の推進 【P3, 4】 ○家庭の教育力向上 ○「幼児共育」の普及・啓発 ○読書活動の推進 ○道徳教育の充実、不登校やいじめ等の相談体制 ○社会全体で子どもたちを守り育てる体制づくり ○食育の推進 ○子どもたちの体力・運動能力の向上 ○社会体験、自然体験活動等と関連づけた環境教育	(2) 「まなび」を通して、自立をめざす 【P5, 6】 ○児童生徒一人ひとりを大切にするきめ細かな指導 ○シラバス作成、生徒による授業評価等学習指導の改善 ○コミュニケーション能力の育成 ○外国語によるコミュニケーション能力の育成 ○ICT活用による教員の指導力向上 ○地域の自然や歴史、精神文化などに関する地域学習 ○特別支援教育支援体制の充実 ○発達段階に応じたキャリア教育 ○高等学校の再編整備
(3) 広い「かかわり」の中で、社会をつくる 【P7, 8】 ○青少年の体験・交流活動の推進 ○地域全体で学校を支援する取組みや、安心な居場所づくり ○地域の伝統文化などを教え学び合う「山形ふるさと塾」や、「最上川」の重要文化的景観選定に向けた取組み ○総合型地域スポーツクラブの創設支援や、「力強いスポーツ山形」実現に向けた指導者の養成等 ○県民の主体的な学習活動に対する支援や、NPO、ボランティア団体と連携した生涯学習の推進	(4) 学校と地域を元気にする 【P9, 10】 ○学校運営に係る目標達成度についての自己評価や学校評議員の意見などを踏まえた「開かれた学校づくり」 ○教員選考時の面接や模擬授業への工夫・改善、「使命感」や「総合的な人間力」、「マネジメント力」などに係る研修 ○教職員の意欲を高め活力ある学校づくりを推進する「教員評価」 ○学校施設の計画的な耐震診断と耐震改修・改築の推進

第2章 教育を取り巻く社会情勢等の変化 【P11~12(2)】

第1 少子化等の進行  
 人口減少、合計特殊出生率の低迷、15才未満の年少人口割合の低下、世帯構成(三世同居、核家族)の変化

第2 就業・雇用形態の変化  
 経済のグローバル化、非正規就業者の増加、ニート・引きこもりの問題、早期に離職してしまう若者の状況

第3 国際化・情報化の進展  
 国際交流の進展、外国人の県内受入数・外国人登録者数の増加、情報通信技術の進歩に伴う「光と影」

第4 意識・価値観の変化  
 価値観の多様化、人間関係の希薄化、行き過ぎた個人主義 等々

第3章 計画期間後期における取組み 【P13~P43(31)】

第1 基本目標 【P13】

～知徳体が調和し、「いのち」輝く人間の育成～  
 社会を主体的に生きていくためには、知徳体をバランス良く育成することが重要。また、人々の意識の変化、地域のつながりの希薄化などから人間関係を上手く築けない、倫理観・規範意識が不足している子どもたちも少なくない現状を踏まえると、「いのちの教育」の意義はますます大きなものに。

第2 基本方針  
 これまでの取組みや社会情勢の変化などを踏まえ、改めて次に掲げる四つの基本方針に沿って、効果的に取組みを推進していく

第3 主な取組内容と目標指標 【P14~43(30)】

(1) 「いのち」を大切に、豊かな心と健やかな体を育てる 例えば ○「いのちの教育」の深化 ○「幼児共育」の充実 等々
(2) 「まなび」を通して、自立をめざす 例えば ○少人数学級編制を踏まえた学びの充実 ○情報化、国際化が進展する社会を主体的に生きる人づくり ○小中高一貫したキャリア教育の推進 ○特別支援教育の推進 等々
(3) 広い「かかわり」の中で、社会をつくる 例えば ○人への関心や愛着、信頼感を基盤とする「社会力」の育成 ○地域に根ざした文化の保存・継承 等々
(4) 学校と地域を元気にする 例えば ○信頼され、尊敬される教員の育成 ○安全・安心な学習環境の確保 等々

第4章 特に重点的に取り組むべき施策 【P44~50(6)】

第3章に記載した取組みのうち、今後5年間で特に重点的に取り組むべき施策を提示し、学校・家庭・地域社会が緊密に連携しながら推進する。